学校教育目標　「学ぶ子ども　仲よくする子ども　健康な子ども　はたらく子ども」

新堀小だより

２月号

令和５年１月３１日発行

元気いっぱい　夢いっぱい　みんなが輝く新堀小学校

新堀小３つの約束「心のこもったあいさつ　時を守る　みんな仲よく」

http://www.c-niiza.ed.jp/e-shinbori/

スマイル ＆ チャレンジ

⇒個性や得意を伸ばしていく

校長　若林　寿

昨年８月、パートナースクール CAJ(クリスチャン アカデミー イン ジャパン)を教員が視察見学させていただいたとき、5th grade(日本の小学６年生)の SEL(ソーシャル エモーショナル ラーニング)の様子を参観させていただきました。これは、非認知能力を高めることを目的とした学習で、欧米では近年メジャーになりつつある教育です。日本の学校の「特別の教科道徳」や「特別活動」がそれに近いものであると考えますが、日本での実践例は、まだ少ないのが現状です。非認知能力とは、つまり認知能力（いわゆる学力 例えば、たし算、漢字の読み書き、文章題、図形の把握ができる力 など ）でない能力全般です。具体的には「目標を決めてやり抜く」、「心の平常を保つ」、「相手を思いやる」、「周りの人と円滑なコミュニケーションをとる」といった、社会に貢献したり人生を豊かにしたりする上でとても大切な能力で、そのベースには「自己効力感（自尊心、自信）」が存在します。CAJ の 5th grade の子たちは、その後、９月に２年生がツアー（見学）で CAJ を訪れたとき、SEL の学習の一環として案内役をしてくれました。CAJ の子たちの一生懸命な姿に心打たれました。また、校長先生をはじめ、CAJ の先生方が 5th grade の子たちを温かく見守り、上手にたくさん褒めていらしたことを覚えています。私たちも見習いたいと思いました。

３ 学期の始業式で子供たちに『スマイル＆チャレンジ』という合言葉を伝えました。この言葉には、子どもたちが安心できる環境の中で幸せを感じ、生き生きと色々なことに取り組み、好きなことをみつけ、個性や得意を伸ばしていける学校にしていきたいという思いが込められています。子供たちは、自分の努力やよさを認められたり、ほめられたりすることによって、自己肯定感や自分への自信を高めていきます。ご家庭との連携のもと自信を持たせる言葉かけを一人一人の子供たちに継続的に行っていきたいと思います（⇒スマイル）。また、子供たちが挑戦したときに、結果だけでなく過程を振り返らせたり、認めたりして、次につなげる意識を持たせることを大切にしていきたいと考えます（⇒チャレンジ）。

今後、パートナースクール CAJ との交流学習を通して、多様な価値観や他者の気持ちを理解し想像できる力や、言語の異なる相手とのコミュニケーションを通して、表情やしぐさから感情や思いを読み取ることができる力を高めたり、グローバルな視点で他者への思いやりや気遣いを身につけたりすることができることも期待しています。

コロナ対応【マスクについて】

マスクの着用については、子供たちのコミュニケーションへの影響に関する指摘もあることから、政府の示すマスク着用の判断基準に準じて、登下校時、体育の授業等の運動時、屋外での活動時には、

「外してもよい」⇒「外しましょう」

という声かけに変えていきます。

※マスクを着用すること、着用しないことは、ともに強制するものではないと考えています。子供たちやご家庭の意向を確認し、配慮が必要な児童は、校内で共通理解を図った上で、進めて参ります。